

第4章 東武宇都宮線（東武宇都宮～新栃木）

東武宇都宮(8:57)～南宇都宮(9:36)～江曾島(10:20)～西川田(10:58)～
安塚(12:05)～おもちゃのまち(12:51)～国谷(14:03)～壬生(15:23)～
野州大塚(16:34)～野州平川(17:15)～新栃木(17:58)

2007年6月16日(土)、第205回目のウォーキングは、先週6月7日(木)初孫成志(せいじ)を有紀さんが出産してくれた感謝の気持と成志の健やかや成長を祝っての歩きとなった。運良く数日前の予報に反して晴天に恵まれた。4時過ぎに起床して5時半の南林間始発でJR宇都宮駅に向かう。当初は北千住経由で新栃木・東武宇都宮駅を考えていた。それが新宿・栗橋経由で東武線に乗り換えて行こうとした。しかし、JR線の蓮田駅で急遽、久喜で快速に乗り換えJR宇都宮駅まで行き、そこから市街を30分位歩き東武宇都宮駅を目指すことにした。大きな理由は一番早く東武宇都宮駅に着くコースであるからである。新宿駅からJR宇都宮までの運賃は1,890円要す。久喜から宇都宮まで山登りの女性グループ(前席7席を占有)とご一緒させてもらう。



東武宇都宮駅への路

単線であるJR宇都宮駅には8時27分到着。宇都宮駅には歩きでこれまで2回来たことがある。すなわち、矢板から宇都宮までの歩きと宇都宮から小山までの歩きのためである。駅前の大通りを西に向かい、東武宇都宮駅を目指す。途中、昭和57年頃竣工した7階建てのフコク生命ビルがあった。近くに住友生命や朝日生命もあった。途中で交通整理をしていた警察官に東武宇都宮駅までの道を聞く。懇切丁寧に教えてもらう。オリオン通りを通り抜けた先の東武デパートの2階に東武宇都宮駅があると教えていただく。オリオン通りは500m位あるアーケードが続く商店街であった。道幅もかなりあった。どの店も開店に向けて準備中であった。



8時57分、東武宇都宮駅に到着。東武ホテルに面した東京街道（国道119号線、日光街道）を通り、南宇都宮駅を目指す。東武線はこの通りに並行して走っていた。9時10分、一条中学校前を通過。少し行った先で東武線が頭上を横切る。これに伴い大通りを右折し、鉄道に沿いつたい歩きする。閑静な住宅街となる。南宇都宮駅には9時36分到着。いつものように、グリーンの名活字に紫の線のある看板であった。病院のような駅舎であった。広大な駐車所をもつ幸福の科学の宇都宮支部前を通過。とても印象的な銀色の建物であった。9時54分、宇都宮高校前を通過。その先に道路が高架していると思ったら、JR日光線を横切るためであった。高架手前に沿って右手200m先にJR鶴田駅（10時）があった。



江曾島駅（えそじま）には10時20分到着。駅前には開倫塾があった。踏切を渡り東武線の左側に出て少し行った先に西川田駅（10時58分）があった。駅舎の左にはロボタンのような「ばーま屋さん」の建物の姿をした店があった。11時5分、新栃木行きの電気に、11時12分、宇都宮行きの電車と対面する。いずれも4両編成の電車であった。この駅から安塚駅に向けて小高い丘越えとなる。鉄道に沿う幹線道路がないため、農道等を繋ぎながら進む。東武線の踏切を右に行ったり左に行きながら進むことになる。11時21分、宇第88号踏切道を越え右に出る。11時33分、宇第85号踏切道を越え今度は左に出る。踏切を渡るや否や宇都宮行きの電車が来る。3m位の細い農道を歩き、丘を通り抜ける。途中、合の田川（あい）である祭田（まつりた）橋には11時42分通過。

万歩計で104歩の橋を渡り、大通りに出る。県道184号安塚雀宮線を進むが、安塚駅(12時5分)には行けず引き返す。宇都宮線は単線のため、このとき上り下りの電車が離合する場面に出くわす。引き返し、安塚駅前には12時12分到着。駅前には県道132号安塚停車場線があった。



安塚駅

住宅街を通り、おもちゃの町駅には12時51分到着。セイコの大時計が花壇の中にあった。駅の反対側にはおもちゃの機関車が見えた。しかし、駅名にふさわしいおもちゃはなかった。タイル張りの通りを抜け大通りに出る。駅前のガストで昼食(20分程度)を摂る。この駅の近郊で大切な日射避けのタオルをロストする。午後からは、ハンカチ型タオルで代用する。



おもちゃのまち駅

今年初めて夏の日差しを感じる中、国谷(くにや)駅を目指す。国谷駅には14時3分到着。14時30分、星の宮カントリー倶楽部前通過。15時、東雲(しのめ)公園前を通過。公園では老人会のゲートボールの試合が行なわれていた。15時4分、東雲橋を通過。万歩計で黒川は188歩あった。壬生(みぶ)駅前への道は、医学の街とあり蘭学通りでタイル張りの歩道が続いていた。江戸時代壬生藩は医学の専門家を育てる藩と推察できた。15時23分、壬生駅に到着。思川が絡むため、複雑な道路が続くと錯覚する。今井交差点で直進か左折するか数分迷う。しかし、直進方向に鉄道が続いていたため直進する。結果的にはOKであった。15時23分、栃木市に入る。本日は懐かしい地名の道路標識を至るところで目にする。雀宮、石橋、小山、家中、鹿沼、真岡と言った

地名である。思川の手前で鳥が自動車の隙間をねらって道路から張られず。恐らく、自動車事故で動物が死んだのだろう。血痕の跡があった。思川の川幅は万歩計で 323 歩あった。故郷讃岐の川と異なり、浅瀬ではあるが、水が勢いよく流れていた。16 時 2 分、道路前方の頭上を東武線が横切る。16 時 17 分、自転車に乗った私と同じ位の年恰好の男性から声をかけられる。「どこから来たのか。どこまで行くのか。テレビ東京で田舎に泊まろうという番組がある。関係者か。頑張れよ。」と励ましの言葉がある。適切に回答する。



国谷駅

壬生駅

16 時 32 分、栃木市国府北小学校前を通過。野洲 (やす) 大塚駅には 16 時 34 分到着。16 時 47 分、大塚保育園前を通過。17 時 8 分、三井鉾山前の事務所を通過する。宇第 16 号踏切道を右に出た先に野洲平川駅 (17 時 15 分) があった。本日、新栃木駅までの最後の駅である。再び鉄道の左側に出て新栃木駅を目指す。17 時 58 分、新栃木駅に到着。18 時 16 分の南栗橋行きに乗る。19 時 7 分、栗橋で乗り換え自宅へ。自宅には 21 時 26 分に到着。本日の営業距離は 24.3Km、万歩計は 61,664 歩だった。本日、ソフトバンクとの交流戦を聞きながら、自宅に向かうこととなる。高橋・杉内の投げ合いであった。8 回、矢野が二死から死球で出、木村がヒットで繋ぎ、高橋由伸の 3 ランが出る。結局、3 対 2 で競り勝つ。上原が締めくくる・今年最高の貯金 13 できる。成志の誕生に花を添えていただいた。この試合は一生忘れることができなであろう。加えて、6 月 17 日 (日) 父の日に娘の有紀さんからプレゼントももらった。その中に 6 月 13 日撮影の寝ている成志があり、とても感慨無量となる一日となった。



野洲大塚駅



野洲平川駅



新栃木駅